

2024 年度 日本医用歯科機器学会 第34回研究発表大会のご案内

メインテーマ 『なぜ、いま鑄造なのか？』

クラウンやインレーの主な材料として金属が用いられてきた時代から、陶材や歯冠補綴用レジン
の物性が飛躍的に向上した現在、保険診療においても歯冠色材料が金属材料に迫る勢いで使用
されてきています。それに伴い、国民の口腔内から金属の存在が減少し続け、こぼれる笑顔の片
隅に散見された金属色が珍しくなる時代が来るかもしれません。近年では装置の製作方法も鑄
造、焼成や重合から切削加工や付加製造など、匠の手作業より効率の良い機械による作業への
変革し、義歯までもが CAD/CAM で製作可能となってきています。また、教育の現場に目を向けると、多くの歯学部では鑄造の実習が無くなってきており、これからの歯科医療を支える若手の先生
は、その経験すら無いまま臨床を行うこととなります。しかしながら、それら歯冠色材料が果たして
すべての症例に適応できるほど万能であるのか？もう、金属の優れた機械的性質を歯冠色材料は
凌駕しているのか？もう臨床で金属は必要ないのか？その答えは、いまだ明らかではありません。

さて、第34回の日本医用歯科機器学会・研究発表大会ですが、7月21日(日)に日本歯科大
学生命歯学部での開催を予定しております。今回は話題の中心となっているデジタル化技術に対
して、アナログ技術を再認識すべくメインテーマを「鑄造」としました。実際の臨床の現場ではまだ
だ、金属が多く用いられています。しかしこの先、鑄造をメインテーマとした大会は皆無でしょう。な
ので、ここが鑄造を見直す最後のチャンスだとの思いで、掲げさせていただきました。すべての症
例に最適な材料などあるはずもなく、材料の性質を熟知した歯科医師が、適材適所に選択すること
が最適な歯科医療であるとの思いと共に、もう一度歯科鑄造を復習していただきたいと思いま
す。ぜひとも研究発表会が熱く盛り上がるように、多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

会 期 : 令和6年7月21日(日)

会 場 : 日本歯科大学生命歯学部 7階臨床講義室

主 催 : 日本医用歯科機器学会

学 会 長 : 高橋 英和 (日本医用歯科機器学会会長)

大 会 長 : 新谷 明一 (日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座)

準備委員長 : 石田 祥己 (日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座)

実行委員長 : 三浦 大輔 (日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座)

《特別講演》

「歯科用合金の成形方法—歯科鑄造を振り返って—」

講 師： 小田 豊（東京歯科大学・名誉教授）

《教育講演》「教育講演：歯科医学教育における鑄造の意義」

「教育における鑄造の現状」(仮題)

講 師： 玉置幸道(朝日大学)

「鑄造から CAD/CAM システムへのシフト」(仮題)

講 師： 末瀬一彦(大阪歯科大学)

《シンポジウム》

「金属床の将来展望(仮)」

シンポジスト:大久保 力廣 先生(鶴見大学)、陸 誠 先生(コアデンタルラボ横浜)

《ランチョンセミナー》

「昨今の金属造形技術について」(仮題)

講 師： 野口一希（和田精密歯研株）

《一般講演》

会員発表

《企業展示》

賛助会員によるビデオ広告を公募します。

◆大会日程◆ ※一部変更になることもありますので、ご了承ください。

7月21日(日)

| | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|-------|---------------|-------|------------|-------|------------|------------|-------|-------|-------|-------|
| 10:30 | 11:30 | 12:00 | 13:00 | 14:15 | 14:30 | 15:30 | 15:40 | 16:40 | 17:20 | 17:30 | 18:00 |
| 常任理事会・ 理事・評議員会 合同会議 | 総会 | ランチョン セミナー | 一般講演 | 休憩 (CM) | 教育講演 | 休憩 (CM) | シンポジウ ム | 特別講演 | 閉会 | | 懇親会 |

| | |
|-------------|--------------------|
| 10:30～11:30 | 常任理事会・理事・評議員会の合同会議 |
| 11:30～12:00 | 総会 |
| 12:00～12:40 | ランチオンセミナー |
| 13:00～14:15 | 一般講演 |
| 14:15～14:30 | 休憩(企業コマーシャルビデオタイム) |
| 14:30～15:30 | 教育講演 |
| 15:30～15:40 | 休憩(企業コマーシャルビデオタイム) |
| 15:40～16:40 | シンポジウム |
| 16:40～17:20 | 特別講演 |
| 17:20～17:30 | 閉会および道具大賞選考 |
| 18:00～19:30 | 懇親会 |

◆演題募集◆

次の要領で一般講演演題を募集いたします。多くの演題の申し込みをお待ちしております。
診療・歯科技工・口腔ケア・研究などにおいて、ちょっとあったら便利なアイデアを発表してください。
 発表の中から道具大賞(金賞・銀賞・銅賞・アイデア賞・努力賞など)を表彰します。

1)発表形式

口演発表のみ(発表12分、質疑応答3分(予定))

2)演題申込方法

下記の**演題申込フォーム**に必要事項をご記入いただき、大会事務局宛に **Eメール**(34jsde@gmail.com)でお申し込みください。

Eメールのタイトルは「**一般発表申込_氏名**」としてください。

また、**抄録のファイル**をEメールに添付してください。

※演題申込フォーム、抄録フォームおよび抄録集執筆要綱は、学会ホームページ(<https://jsde.org/>)からダウンロードできます。

【演題申込フォーム(第34回 日本医用歯科機器学会研究発表大会)】

- ①発表者(フリガナ):
- ②演題名:
- ③所属:
- ④連絡先:住所、電話、ファックス、Eメールアドレス
- ⑤使用するPCのOS:
- ⑥道具大賞エントリー:諾・否(どちらか一方を記載してください。)

3)演題申込・抄録締切

令和6年7月5日(金) ※締切日を再延長しました

4)演題の採否

学会長にご一任ください。

◆参加登録◆

次の要領で参加登録を募集いたします。多くの方のご参加をお待ちいたします。

1)参加登録方法

下記の参加登録フォームに必要事項をご記入いただき、大会事務局宛に E メールでお申し込みください。
Eメールのタイトルは「参加登録申込_氏名」としてください。

◎参加登録フォームは学会 HP (<https://jsde.org/>) からダウンロードできます。

参加登録申し込み先(大会事務局):34jsde@gmail.com

また、Eメールをお送りになる前に、次頁の口座に参加費の納入をお願いいたします。
(振込人名の最初に必ず参加登録者の氏名を記してください。氏名がない、法人名などの場合、確認ができません。振込手数料は参加者負担となります)。

Eメールの受領と入金を確認された時点で、参加登録手続き完了とさせていただきます。
なお、参加費のご返金はいかなる場合でもいたしかねますので、ご了承ください。

【参加登録フォーム:(第34回 日本医用歯科機器学会研究発表大会)】

- ①氏名(フリガナ):
- ②勤務先名(所属):
- ③Eメールアドレス:
- ④住所:
- ⑤電話:
- ⑥FAX:
- ⑦懇親会参加の可否:
- ⑧参加登録費:下記の通りです。

| 区 分 | | 事前登録 | 当日登録 |
|-----|--------------|----------|----------|
| 会 員 | 歯科医師・歯科商工業者 | 8,000円 | 9,000円 |
| | 歯科技工士・歯科衛生士 | 6,000円 | 7,000円 |
| 非会員 | 歯科医師・歯科商工業者 | | 10,000円 |
| | 歯科技工士・歯科衛生士 | | 8,000円 |
| | 学生(学部/専門学校生) | | 1,000円 |
| 懇親会 | 会員・非会員 | 事前登録費に含む | 当日登録費に含む |

- ※ 懇親会につきましても事前登録を行っています。参加の可否を参加登録フォームにご記入ください。
- ※ なお、懇親会費は、参加登録費に含まれます。したがって、参加登録をされた方につきましては無料でご参加いただけます。懇親会のみ参加される場合には参加登録費と同額をお支払いください。
- ※ 宿泊のご案内は行っておりません。飯田橋駅周辺は出張シーズンでもあり、場合によっては混雑が予想されますので、宿泊をお考えの先生方におかれましては、お早めに手配をお願い申し上げます。

2)振込先

金融機関：三菱 UFJ 銀行 神楽坂支店

口座：普通 1050277

名義：日本医用歯科機器学会 第34回研究発表大会 大会長 新谷明一

3)事前参加登録締切

令和6年7月5日（金）※締切日を再延長しました。

◆第34回日本医用歯科機器学会研究発表大会事務局◆

〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-9-20

日本歯科大学生命歯学部 歯科理工学講座

大会事務局：新谷明一 E-mail: 34jsde@gmail.com